

## 平成 30 年度事業報告書

平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人有明海ぐるりんネット

### 事業の成果

平成 30 年度は、当法人の活動の中心である例会活動として、定例会を途切れることなく実施することが出来た。また有明海・筑後川流域の交流で深めた絆を継続する事業として、10 月に松浦川流域で活動する NPO 団体等々との出張交流会が実現できた。さらに、2018 年度（一社）セブンイレブン記念財団環境市民活動助成事業として、有明海の歴史文化に関する見学会とシンポジウムを開催することが出来た。カキ礁復元へ向けた「竹切り作業＋有明海での竹立て作業」の中で生まれた NPO 法人嘉瀬川交流軸、NPO 法人有明海再生機構との交流は今後も進めていきたいと考えている。

#### ①有明海の魅力を探り、広報する活動

##### 定例会と出張交流会

「有明海に関する知識と知恵を共有化し、有明海と共生する暮らし方を探る」活動の中心として毎月 1 回、合計 12 回の例会を欠かすことなく実施できた。会員に講師を推薦して戴く方式にしてからは、様々な分野からの多様な話題提供があることから、今後もこの方式をとりたいと考えている。さらに、他の地域の方々との交流を深めるため、今年度は、松浦川流域の厳木に宿泊し、流域で活動する NPO 法人等の方々との交流を深める出張例会を開催した。

#### ②有明海の新たな魅力創生に寄与する活動

##### ●2018 年度（一社）セブンイレブン記念財団環境市民活動助成事業の実施

幸い今年度も「古事記の神様から吉野ヶ里へ至る古代有明海を考える」の事業名で申請した事業が、セブンイレブン記念財団環境市民活動助成を受けることができた。

マスコミでは「対立する有明海」だけが報道されるが、美味しい海苔、ひょうきん者のムツゴロウ、日本一の飛来数を誇る渡り鳥たちなど、有明海は魅力に満ちた海でもある。また、有明海の魅力の一つは文化の豊かさと歴史の深さである。古事記・風土記に残された神々と東名・吉野ヶ里遺跡と有明海が深く結びついていることを明らかにすることにより「魅力ある有明海の文化」を広報し、市民と有明海とのむすびを強くすることを目的とした。

#### ※「大川風浪宮の沖詣り海神祭」見学会

大川若津港を船出し筑後川河口海域で催される「大川風浪宮沖詣り海神祭」に参加した。

日時：2018 年 5 月 15 日（火）旧暦 4 月 1 日

参加者：30 名

乗船者 20 名（一般参加者、ぐるりんネット会員、行事関係者）

実施海域：大川若津港より筑後川河口海域

連携団体：大川風浪宮

※「古事記の神様から吉野ヶ里へと至る古代有明海を探るシンポジウム」開催

「日本文化の空間学」（桑子敏雄編 2008年東信堂刊）に記された研究成果を基礎に、有明海沿岸域における風土に記された神々と、東名・吉野ヶ里遺跡に残された人々の姿を探る。

日時： 2018年12月2日（日）

会場： さが水ものがたり館 ホール

参加者： 約70名

基調報告： 荒牧軍治（NPO 法人有明海ぐるりんネット代表理事）

基調講演

講師： 合田博子氏（元兵庫県立大学環境人間学部教授、社会人類学博士）

高島忠平氏（元佐賀女子短期大学学長、考古学者）

#### ●鹿島ガタリンピック出展試食会中止

例年6月に開催していた鹿島ガタリンピック出展試食会は、今年度鹿島ビジターセンター工事の為会場が使えなくなり、鹿島市よりイベント中止の連絡を受けたので、今年度計上予算は、出張交流会に計上した。

#### ●カキ礁復元の取組み事業

有明海の環境悪化の象徴的な事象である「貧酸素水塊の増加」と「底質悪化」を改善する施策として「二枚貝の復活・増加」が有効であることは、科学的に証明されている。

今年度もNPO 法人嘉瀬川交流軸とNPO 法人有明海再生機構との共同事業で「カキ礁復元用の竹切り出し作業」「有明海カキ礁復元竹立て作業」を行なった。

#### ③情報発信

平成17年度の創刊号以来、毎年1号ずつ発刊してきた冊子「有明海」は休刊しましたが、これまでに蓄積してきたコンテンツを、アジア湿地シンポジウム2017（AWS2017）で刊行したブックレットに活かすことができた。

冊子有明海に掲載したコンテンツの中で、日本語英語併記で表現したいものが多く残されている。今年度も福岡都市圏広域行政事業組合の環境対策支援補助金を活用して、日本語英語併記電子版冊子「有明海」の作成を企画・制作中である。また、ホームページを常に更新するよう作業を続けている。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動にかかる事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益者対象の範囲及び人数	支出額(千円)
① 有明海に関連した環境教育及び生涯学習に関する作業	定例会					
	本間雄治氏 (NPO 法人みなくる SAGA 理事) 広滝発電所に関する新発見	4 月 12 日 (木)18:00 ～19:30	佐賀市市民活動プラザ 7F 会議室	2	会員  参加 13	61
	竹下泰彦氏 (NPO 法人有明海ぐるりんネット副代表理事) 佐賀平野の干拓について 年次総会”	5 月 10 日 (木)18:00 ～19:30  19:30～	MIZ・P-CSR 研究所	4	会員  参加 20	
	多良正裕氏 (前吉野ヶ里町長) 吉野ヶ里町のまちづくり・観光戦略について	6 月 14 日 (木)18:00 ～19:30	MIZ・P-CSR 研究所	2	会員  参加 12	
	東島清司氏 (東与賀まちづくり協議会会長) 東よか干潟の環境保全と、ワイズユース	7 月 12 日 (木)18:00 ～19:30	MIZ・P-CSR 研究所	2	会員  参加 13	
	荒牧軍治氏 (さが水ものがたり館館長) 佐賀・筑後平野の治水家群像	8 月 9 日 (木)18:00 ～19:30	MIZ・P-CSR 研究所	2	会員  参加 14	
	田端正明氏 (佐賀市重要産業遺跡調査指導委員会 副委員長) ここまで解明された三重津海軍所の出土遺跡	9 月 20 日 (木)18:00 ～19:30	MIZ・P-CSR 研究所	2	会員  参加 13	
	講師：石盛信行氏 (佐賀水ネット松浦川ネットワーク 代表)	10 月 27 日 10:00～ 10 月 28 日 10:00～	出張例会 唐津 巖木地区	2	会員 県内・県外 参加 30	
	副島孝文氏 (佐賀県土地改良連合会「水土里(みどり)ネットさが」専務理事) 土地改良法制定までの背景と今後の展望について	11 月 16 日 (木)18:00 ～19:30	MIZ・P-CSR 研究所	2	会員  参加 13	

① 有明海に関連した環境教育及び生涯学習に関する作業	12月2日開催シンポジウム講師を囲んでの炉辺会議 講師：高島忠平氏 講師：合田博子氏	12月1日 (木)18:00 ～19:30	有明海料理「登記」	2	会員 参加 12	
	荒牧軍治氏 (NPO 法人有明海ぐるりんネット代表理事) 成富兵庫茂安の竹で有明海の牡蠣礁を復活するプロジェクトと授賞式の報告	1月17日 (木)18:00 ～19:30	MIZ・P-CSR 研究所	2	会員 参加 15	
	指原孝治氏 九重ふるさと自然学校(一財)セブン-イレブン記念財団が運営する九重ふるさと自然学校の活動紹介とぐるりんネットとの今後の交流について	2月21日 (木)18:00 ～19:30	MIZ・P-CSR 研究所	2	会員 参加 14	
	竹下泰彦氏 漁業権について 「海の幸、川の幸、田の幸」について	3月14日 (木)18:00 ～19:30	MIZ・P-CSR 研究所	2	会員 参加 15	
② 有明海沿岸地域の地域連携及び地域づくりに関連する事業	唐津・巖木地区 地元 NPO 活動団体との共同作業	10月27日 (土)	唐津市 巖木地区	5	県内、県外 (不特定) 参加 30名	71
	カキ礁復活を支援するための竹切り作業イベント (嘉瀬川交流軸共催)	6月9日 (土) 3月10日 (日)	佐賀市 さが水ものがたり館 周辺	5	県内、県外 参加 30名	0
	カキ礁復活 現場竹立て作業 (嘉瀬川交流軸共催)	7月28日 (土)	佐賀有明海 漁協久保田 支所海域	5	県内、県外 参加 30名	0
	古代有明海を考える ①現地見学会 ②シンポジウム (セブンイレブン支援事業)	5月15日 (火)  12月2日 (日)	大川風浪宮 沖詣り海神祭 若津港沖  さが水ものがたり館	10  15	県内、県外 参加 30名  県内、県外 参加 70名	308
③ 有明海の魅力発信広報活動	公式サイト更新作業 ①毎月更新	4月～	佐賀県 東京都	3	国内外 (不特定)	80
	②英語版制作データ作成第1期	4月～		3		50